

ふね遺産 第1回 応募案件－14

「ふね遺産」(応募様式) : A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

年 月 日提出 氏名(個人名または団体の代表者名) : 四方 俊晴

所属(個人は住所) : 糸満市地域連携協議会

メールアドレス : [shikatat@open.ed.jp](mailto:shikatat@open.ed.jp) 、その他の連絡先 : 090-3795-9111

|                                   | 内容  | 備考   |
|-----------------------------------|---|--|
| 1. 対象物・資料の名称・所属または所有者             | サバニ   |  |
| 2. 対象物の作成・存在時期                    | 1380~1429年頃から文献に出てくる現在まで  |  |
| 3. 現状<br>(写真添付)                   |  <p>下図 帆走時</p>    |  |
| 4. ふね遺産認定基準の該当項目                  | 【認定対象】(3)(4)<br>【認定基準】(6)~(13)  |  |
| 5. 歴史的・工学技術的意義                    | <p>サバニの歴史は1380~1429年頃の文献頃の文献に登場します。サバニは琉球王国・沖縄県と明・清国との交易や水産業を支えた沖縄県の伝統舟艇です。サバニはGMが小さい不安定な舟艇です。これはヨット・伝馬船とは全く異質な舟艇です。素人が乗れば舟はたちまち転覆します。しかしこれを乗りこなせばサバニは大変便利な舟艇になります。</p> <p>例えばすぐに転覆することは直ぐに起こせることでもあります。海人は海上が時化たときは故意にサバニをひっくり返してひっくり返ったサバニの中で時化をやり過ごしたともいいます。不安定な舟艇を海人が乗りこなすことでサバニが琉球の歴史に大きく関わった、さらに日本の歴史にもサバニの影響があったといっても過言ではありません。(右欄へ続く)</p> | <p>琉球時代の海人はこのサバニを乗りこなして遠方まで出かけて追い込み漁をし、魚を漁獲したといっています。その漁獲した魚で俵物を生産し明国・清国と密貿易をし、薩摩は莫大な富を得て明治維新につながったと考えるならば、サバニ歴史的に見ても大変意味深い存在であります。GM値が大きく安定な舟艇が多い中「不安定」なGM値が小さいサバニが日本の歴史にも大いにかかわったことは工学技術的に見ても大変意義深いことであると思います。</p> |
| 6. 参考資料・文献<br>(本表に収まらない場合は別途添付する) |   |  |